vol.35 くりんちゃん

くりんちゃん通信

芦田川環境マネジメントセンター ニュースレター

2024年2月

【発行・事務局】
芦田川環境マネジメントセンター（AEMC）
〒720-8555　広島県福山市西町2-10-1
福山商工会議所ビル1F　エフエムふくやま内
TEL（084）920-8777
E-mail　aemc@fm777.co.jp
Homepage
http://fm777.co.jp/pc/aemc/index.html

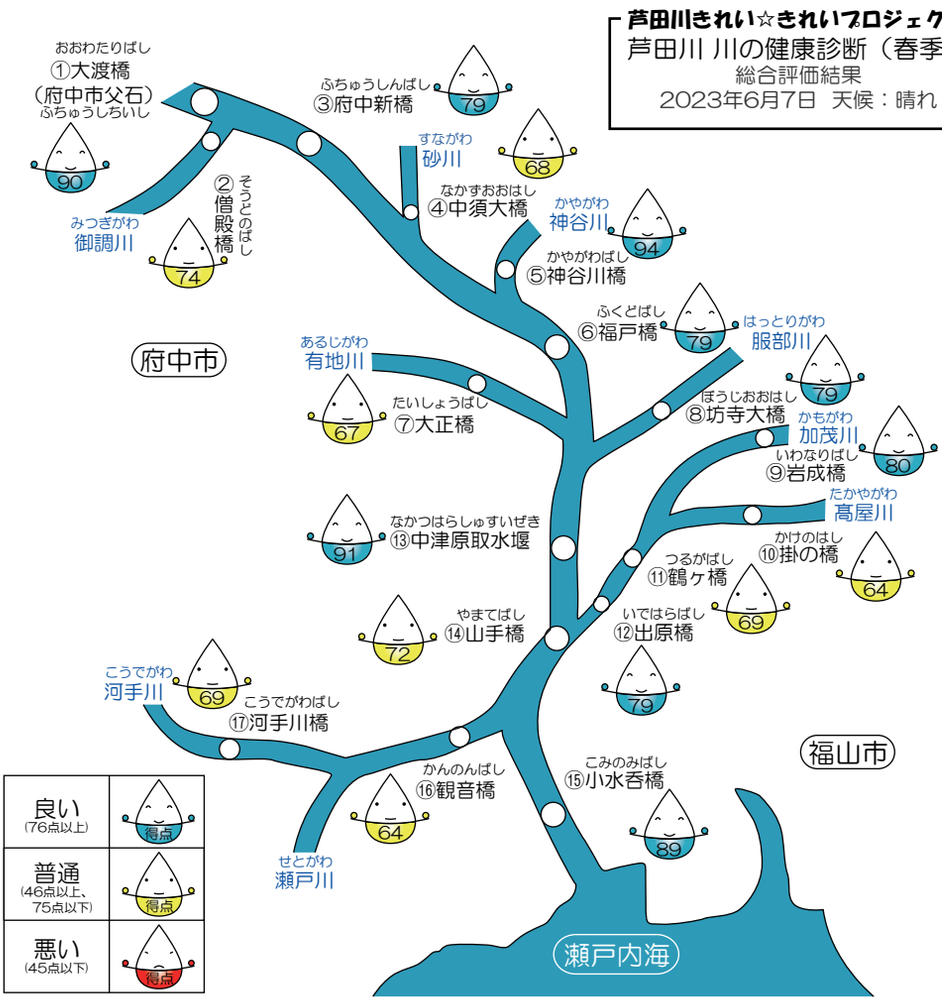
TOPICS 1 “芦田川　川の健康診断”を春、秋に開催

芦田川とその支川の17地点を対象に、川の水質、見ためなどを評価する“芦田川　川の健康診断”の春季調査を2023年6月7日（水）に、秋季調査を2023年11月12日（日）に開催しました。（参加者：春季スタッフのみ・秋季一般）

調査は、地点毎に、水質チェック（COD、亜硝酸、りんのパックテストによる簡易水質測定）、感覚チェック（見た目や色、匂い、手触りなどによる評価）を行いました。

また、調査後は、“芦田川見る視る館”にて、透視度の計測などを行うとともに、各地点の調査結果を集計しました。

2023年度 芦田川『川の健康診断　春季調査』総合評価結果



上位ランキング

1位　⑤神谷川橋（神谷川）：94点

2位　⑬中津原取水堰（芦田川）：91点

3位　①府中大渡橋（芦田川）：90点

下位ランキング

1位　⑩掛の橋（高屋川）：64点
　　⑯観音橋（瀬戸川）：64点

2位　⑦大正橋（有地川）：67点

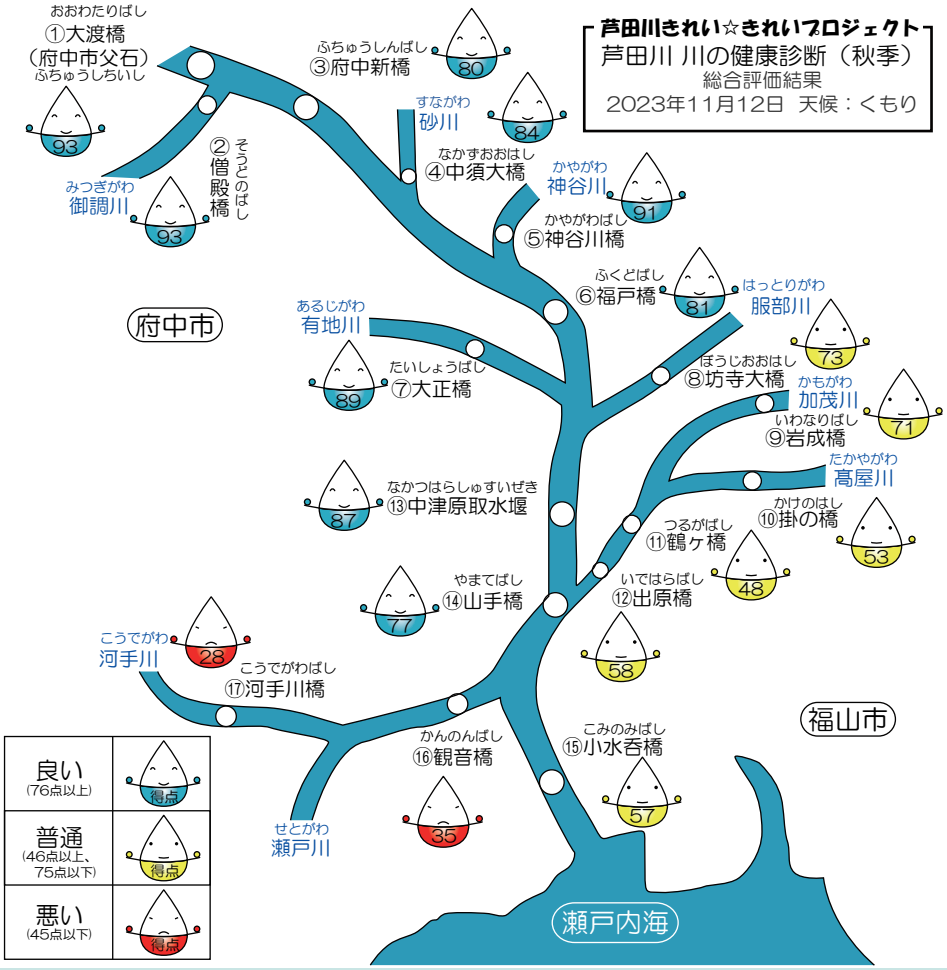
3位　④中須大橋（砂川）：68点

春季調査の結果まとめ

春季調査では、芦田川上流の調査地点である①府中大渡橋、中流の⑬中津原取水堰、支川神谷川の⑤神谷川橋などで比較的評価が高く、支川高屋川の⑩掛の橋、支川有地川の⑦大正橋、支川砂川の④中須大橋、支川瀬戸川の⑯観音橋などで評価が低い結果となりました。

今年は平年より約8日早い梅雨入りとなっており、5月の降水量も前年より多く、川の水量も比較的安定していたため、前年と比べ全体的に評価が高くなった地点が多くみられました。なお、前年より評価が低くなった地点もありますが、いずれも「普通（46 点以上）」以上であり、今回の総合評価は全体的に良好な結果となりました。

2023年度 芦田川「川の健康診断 秋季調査」総合評価結果



上位ランキング

1位 ①大渡橋（芦田川）：93点
②僧殿橋（御調川）：93点

2位 ⑤神谷川橋（神谷川）：91点

3位 ⑬中津原取水堰（芦田川）：87点

下位ランキング

1位 ⑰河手川橋（河手川）：28点

2位 ⑯観音橋（瀬戸川）：35点

3位 ⑪鶴ヶ橋（高屋川）：48点

秋季調査の結果まとめ

秋季調査では、芦田川上流の調査地点である①府中大渡橋、②僧殿橋、中流の⑬中津原取水堰、支川神谷川の⑤神谷川橋などで比較的評価が高く、支川高屋川の⑪鶴ヶ橋、支川河手川の⑰河手川橋、支川瀬戸川の⑯観音橋などで評価が低い結果となりました。

府中大渡橋等の芦田川上流及び御調川、砂川、神谷川等の支川の評価が非常に良好でした。加茂川・高屋川は昨年度とほぼ同程度の「普通（46点以上）」評価、河手川・瀬戸川は直上流の河川工事の影響により著しく評価を落とし「悪い（45点以下）」評価であり、これら支川の合流以降は、本川の水質も落ちていることが分かります。総合的に勘案すると、本川及び支川の水質は良好であるといえます。

本年度調査全体の結果まとめ

本年度調査では、例年より早い梅雨入りによって流量が安定していた春調査が高評価に、安定した気候が続いた秋調査でも高評価という結果になりました。特に水量が保たれていた府中大渡橋や僧殿橋で、春・秋ともに高い評価となりました。一方、下流部で芦田川に合流する高屋川・瀬戸川の調査地点では、春・秋ともに低い評価となりました。

調査地点全体の傾向としては、県土の調査結果と同様に、上流の地点で比較的水質が良好であり、市街地を流れる支川（高屋川・瀬戸川等）の下流部や支川合流後で水質が悪くなる傾向であり、生活排水や工事の影響が大きいものと考えられます。

TOPICS 2 2023年度「芦田川 水辺の学び舎」を開催

流域住民の皆さまに水環境改善へ関心を持っていただくため、"芦田川 きれい☆きれいプロジェクト"の一環として、流域の子どもたちを対象に、芦田川をフィールドとした体験学習会「芦田川 水辺の学び舎」を9月24日(日)に開催いたしました。
参加状況としては、一般参加者、AEMCスタッフなどを含め、総勢94名の参加となりました。

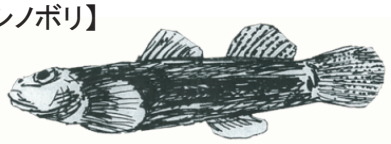
芦田川 府中大渡橋付近

出口川合流部付近

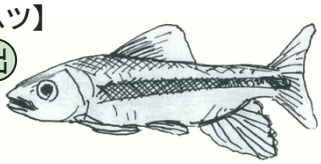
【アカザ】府 貴重種

【カマツカ】府 出

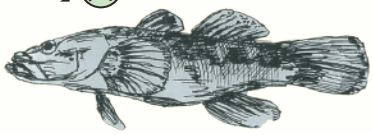
【カワヨシノボリ】府 出



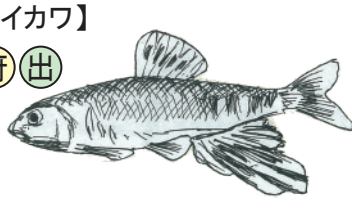
【カワムツ】府 出



【ドンコ】出

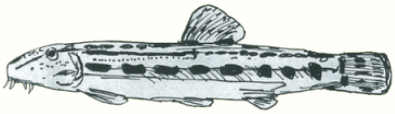


【オイカワ】府 出



【コウライニゴイ】出

【オオシマドジョウ】出



府 府中大渡橋で見つかった魚　出 出口川で見つかった魚

そのほかに見つけた生物(府中大渡橋付近)

・カワゲラ　・ナガレトビケラ
・オオシマトビケラ　・ヒラタドロムシ
・コオニヤンマ　・カワニナ
・ハグロトンボ　・スジエビ　・モエビ
・ヌマエビ科　・アメンボ
・サナエトンボ科

そのほかに見つけた生物(出口川合流部付近)

・カワゲラ　・ヒラタカゲロウ　・ナミウズムシ　・オオシマトビケラ
・ヒラタドロムシ　・ゲンジボタル　・コオニヤンマ　・ハグロトンボ
・ミズカマキリ　・シジミ属　・スジエビ　・モクズガニ　・アメンボ
・サナエトンボ科　・タニシ　・ヌマエビ科　・イトトンボ科　・プラナリア

3年ぶりに一般参加者を交え実施された調査日は、天気も良く暑さを感じる一日でした。
府中大渡橋では貴重種のアカザや、様々な種類のいきものが確認されました。
両地点とも、昨年度と同等かやや多くの種類の魚や水生昆虫などが観察され、生物の生息できる水辺や川底の環境が保たれていることが確認出来ました。また、きれいな水を示す指標生物が多く観察されたことから、芦田川・出口川の水も良好であり、様々ないきものにとって棲みやすい環境であることが確認されました。

TOPICS 3 「芦田川さかなマップ」を作成しました

「芦田川　水辺の学び舎」では、府中大渡橋と出口川において、水生生物や魚などの生き物調べ、水質調査などを行った後、川の様子や捕まえた魚の特徴、調査の感想などを発表しました。
また、講師から魚の生態などについて詳しく解説していただき、子どもたちは、目をきらきらさせながら一生懸命聞いていました。その結果をもとに、事務局でイラストや紹介文章などの調整を行い作成した「芦田川さかなマップ」を下に示します。